

令和元年度農山村集落体制づくり支援事業活動報告

事業概要

人口減少の著しい農山漁村集落では、高齢化や人口減少に伴い、地域活動の担い手が少なくなっています。

宮城県では平成28年度から、地方創生推進交付金を活用し、農山漁村集落において、地域が抱える課題や地域資源等、地域の実態把握を行うとともに、集落が行う援農ボランティアや都市農村交流等の実施体制づくりを支援してきました。

集落が主体的に活動できるように、地域の合意形成や活動企画を検討する住民ワークショップの開催や、活動の広報及び交通手段の確保などを支援しています。



事業実施地域



ワークショップの開催

ワークショップは、地域の課題や魅力を改めて考える機会となるほか、地域住民が一丸となって話し合う合意形成など、今後の活動の方向性を導く重要なものです。

住民みんなで考え、アウトプットしていきます。



今後の方向性を決定します。



七ヶ宿町湯原地区

七ヶ宿町湯原地区は、山形県境に位置する山間地であり、農作物の鳥獣被害が深刻な地域です。

そこで、7月に鳥獣害防止柵の設置のボランティア活動を実施しました。



冬の間に降った雪を活用した貯蔵庫「雪室」を利用したお米や野菜を雪室ブランドとして販売しています。



数kmに渡って柵を張り巡らせていきます。



登米市沢田地区

登米市沢田地区は、生でも食べられる、柔らかくてとても甘いとうもろこし「味来（みらい）」を生産しており、ボランティアの方々が「味来」の苗植え付けから収穫までをお手伝いしました。



ひとつひとつ丁寧に植えていきます。

小さかった苗がこんなに大きく！



とても甘くておいしい！

栗原市有壁地区

栗原市有壁地区は、地元の酒造会社と連携し、天水（流域内に降った雨水）だけで酒米を作っており、酒米の田植え体験や稲刈りのボランティア活動を実施しました。

泥んこになりながら田植え体験！



ねじりほんによづくりにはコツが必要です。

作った酒米は美味しいお酒になります。



加美町石母田地区

加美町石母田地区は、世界農業遺産が存在する大崎地域にあり、蟬堰から取水した用水を利用した水稻栽培が盛んです。

そこで、もち米の稲刈り体験と蟬堰や居久根の見学を行いました。



「みやこがねもち」の稲刈り体験を行いました。



大崎耕土の歴史を学びました。



丸森町大内青葉地区

丸森町大内青葉地区は、福島県境に位置する地域で、地域内にあるイベントや盆踊り、青葉踊りなどの地域活動が盛んです。地域の課題や魅力を改めて考え、地域資源を活かす方法を考えるワークショップを行いました。

多くの住民の皆様が集まり、話し合いが行われました。



様々な意見を分類ごとにまとめます。

丸森町耕野地区

丸森町耕野地区では、「ころ柿（干し柿）」を特産品としており、柿の収穫や皮むきなどを行うボランティア活動を実施しました。また、「ころ柿」ができた頃に、地元の方々とボランティアとの交流会を行いました。



柿の収穫は思ったよりも重労働です。

干すことで、甘い「ころ柿」に！



交流会では出来立ての「ころ柿」が振舞われました。